

スラッカー

映画批評
film criticism

6

リンクレイターの出世作、というだけでなく

篠儀直子



1989年にわずか2万3千ドルの製作費で撮影され、翌年、撮影地であるテキサス州オースティンでロングラン上映されたのち、翌91年に全米公開されて123万ドル近い興収を挙げるヒットとなつた『スラッカー』は、リンクレイターの出世作というだけでなく、90年代アメリカのインディペンデント映画ムーヴメントの開始を告げたという意味で、現代映画における最も重要な作品のひとつである。会話する人物が次々バトンタッチされ、ピンボールのような語りの運動でもつてプロットが前進していくこの映画は、マンブルコア「注・米国インディペンデント映画のサブジャンル。2002年の『Funny Ha Ha』(日本未公開)に始まる」とされ、「フランシス・ハ」などが含まれるに影響を与えた作品とも言われている。

低予算で、会話が重視され、登場人物のほとんどが若者であり、職業俳優を使つていない——この映画の出演者は、リンクレイター自

身を含むオースティン在住の人々であり、複数のミュージシャンも含まれている

——という点は、確かにのちの多くのマングルコア作品と共通するけれど、異なる点として、『スラッカー』で即興は行われていない。「自分の映画はたいてい予算がないから即興を許す余裕がない。いつもリハーサルを入念に繰り返してから撮影に臨む」とリンクレイターは述べている。

また、性的トラウマについてヨット所有者が繰り返し語るレストランのシーンで、新聞を手に「俺につきまとうな」と言う男を演じたルイス・ブラックは、それまで何度も自主映画に出演した経験から、この作品への参加にあまり気乗りしていないかったのだけれど、現場に行ってみるとキャラメラのドリーを載せるレールが敷かれ、照明も完璧にセッティングされており、撮影はたいへん楽しい経験になつたと書いている。ゲリラ的ではなく作り

★1

Funny Ha Ha

監督: アンドリュー・ブジャルスキ

撮影: マティアス・グレンスキ

キャスト: ケイト・ドレンマイヤー、

マーク・ハーレイ、クリスチャン・

ラダー

2002 / 85分 / アメリカ

★2

Funny Ha Ha

監督: 脚本: アーヴィング・バームバウ

撮影: サム・レヴィ

音楽監修: ジョージ・ドレイコニアス

キャスト: グレタ・ガーヴィング、ミック

キー・サムナー、アダム・ドライヴァー

2002 / 86分 / アメリカ

★3

Funny Ha Ha

監督: アンドリュー・ブジャルスキ

脚本: アーヴィング・バームバウ

撮影: サム・レヴィ

音楽監修: ジョージ・ドレイコニアス

キャスト: グレタ・ガーヴィング、ミック

キー・サムナー、アダム・ドライヴァー

2002 / 86分 / アメリカ

★4

Funny Ha Ha

監督: アンドリュー・ブジャルスキ

脚本: アーヴィング・バームバウ

撮影: サム・レヴィ

音楽監修: ジョージ・ドレイコニアス

キャスト: グレタ・ガーヴィング、ミック

キー・サムナー、アダム・ドライヴァー

2002 / 86分 / アメリカ